

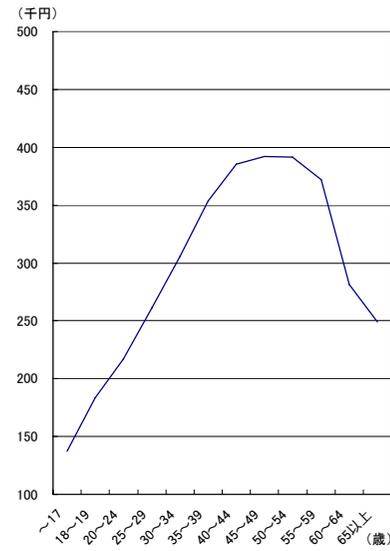
# 年齢階級別平均給与額の推移について

○ 平均給与額について、55～59歳層と60～64歳層の間の減額傾向については、平成14年と平成18年とでほとんど変化がない。

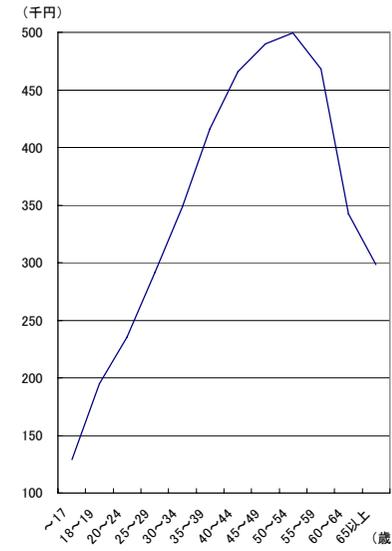
## 年齢階級別平均給与額(平成18年)

## 年齢階級別平均給与額(平成14年)

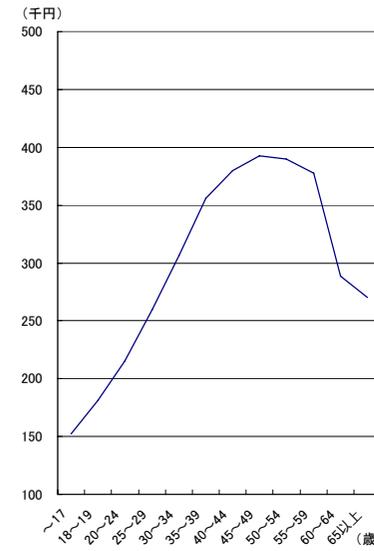
①規模計



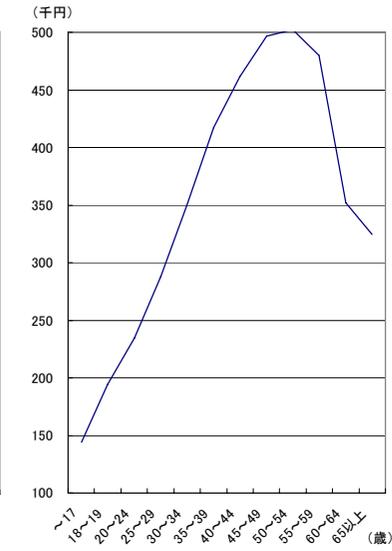
②企業規模1,000人以上



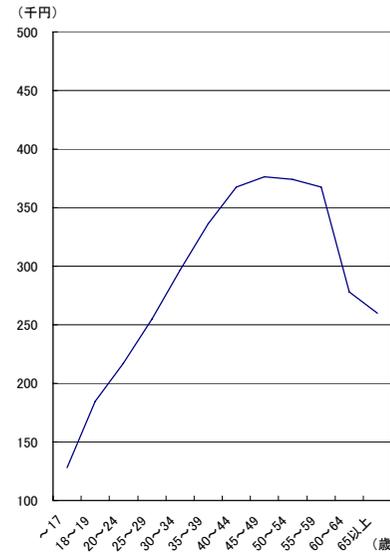
①規模計



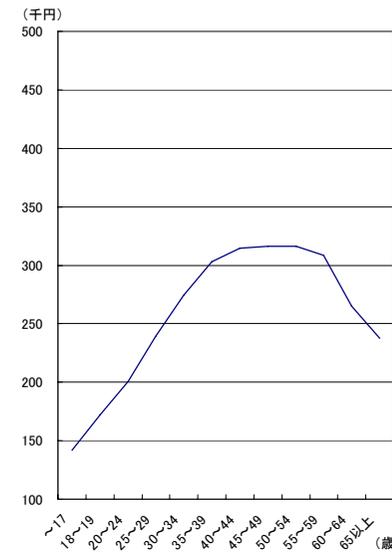
②企業規模1,000人以上



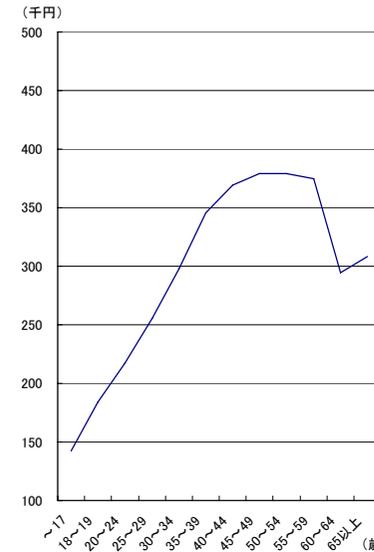
③企業規模100～999人



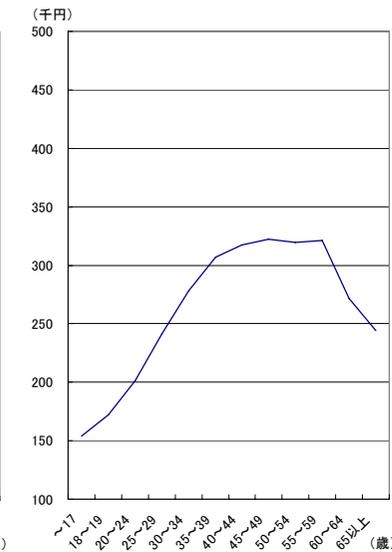
④企業規模10～99人



③企業規模100～999人



④企業規模10～99人



(資料出所)厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

(注)賃金額は、「きまって支給する現金給与額(※)(平成18年6月)」である。

※きまって支給する現金給与額:労働契約、労働協約あるいは事業所の就業規則などによってあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって6月分として支給された現金給与額をいう。手取り額ではなく、所得税、社会保険料などを控除する前の額である。

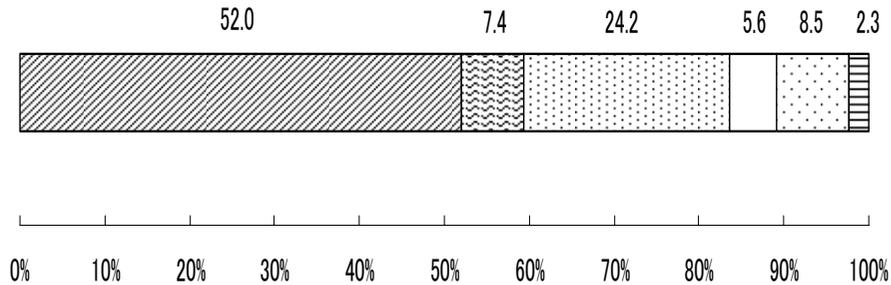
(資料出所)厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

(注)賃金額は、「きまって支給する現金給与額(※)(平成14年6月)」である。

※きまって支給する現金給与額:労働契約、労働協約あるいは事業所の就業規則などによってあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって6月分として支給された現金給与額をいう。手取り額ではなく、所得税、社会保険料などを控除する前の額である。

# 出産前後で仕事を辞める女性の約3割が両立環境が整わないことを理由に辞めている。

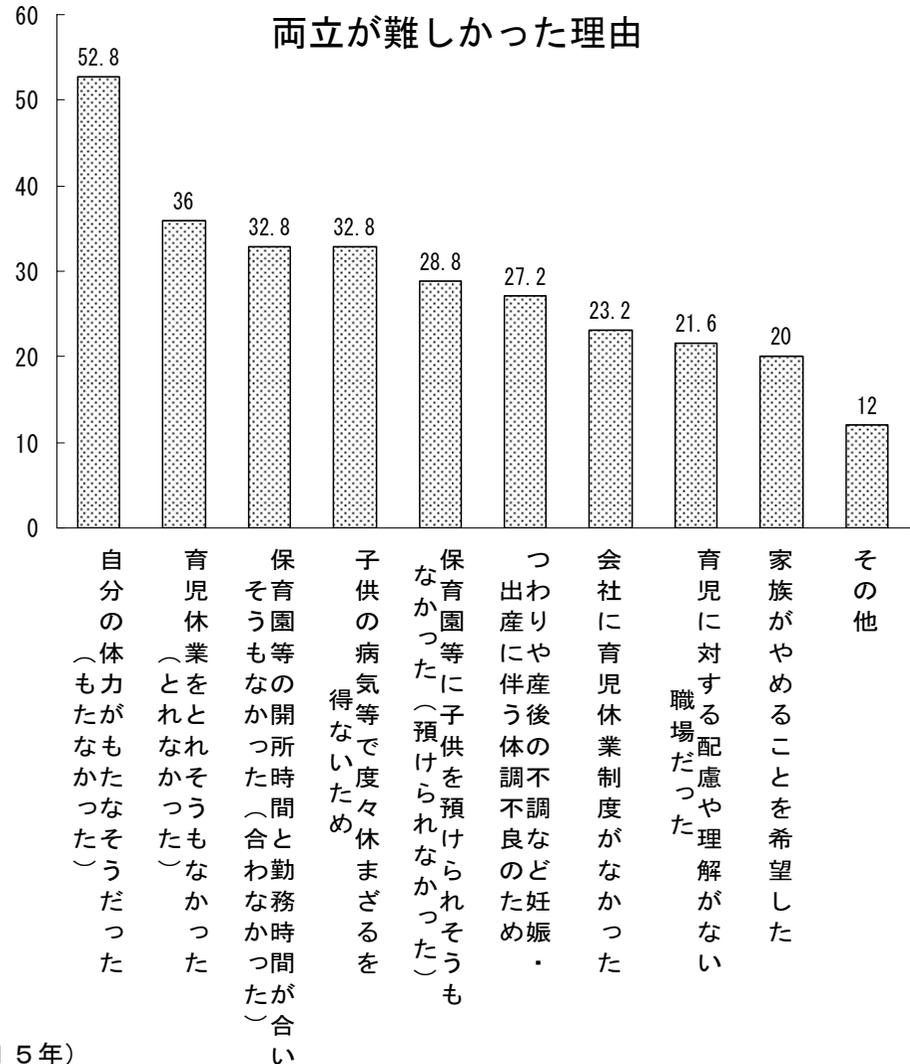
「出産1年前には雇用者で現在は無職」かつ  
「就学前の子どもがいる女性」が仕事を辞めた理由



- 家事、育児に専念するため、自発的にやめた
- 出産、育児と関係ない理由でやめた
- 出産を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさでやめた
- 解雇された、退職勧奨された
- その他
- 特になし

(%) (複数回答)

## 両立が難しかった理由

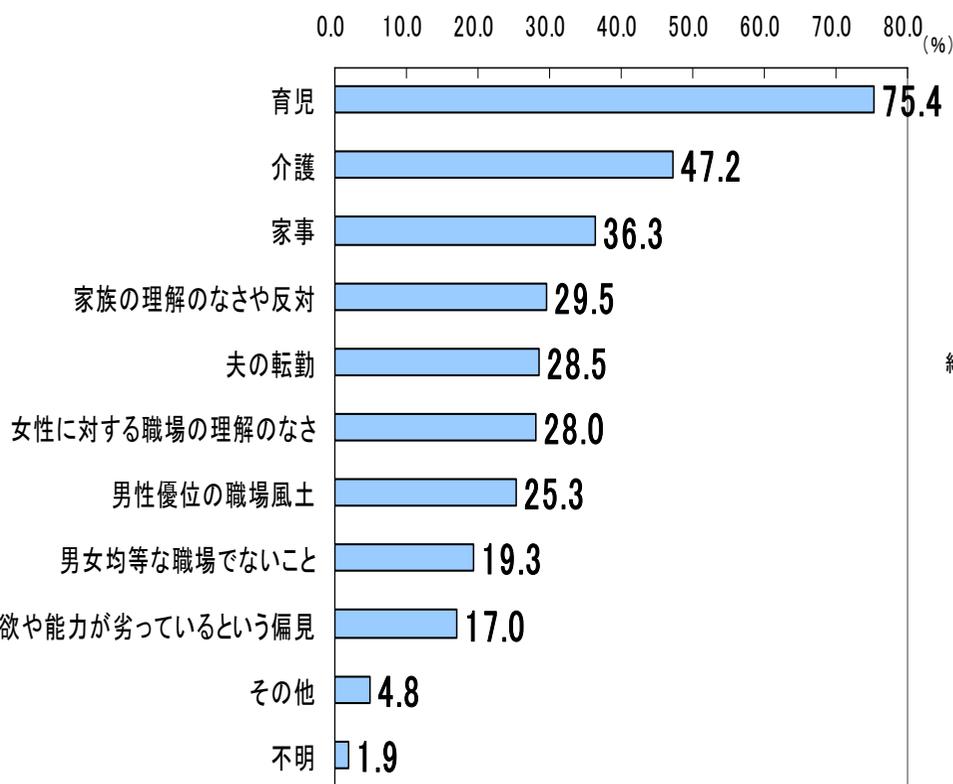


資料出所 日本労働研究機構「育児や介護と仕事の両立に関する調査」(平成15年)

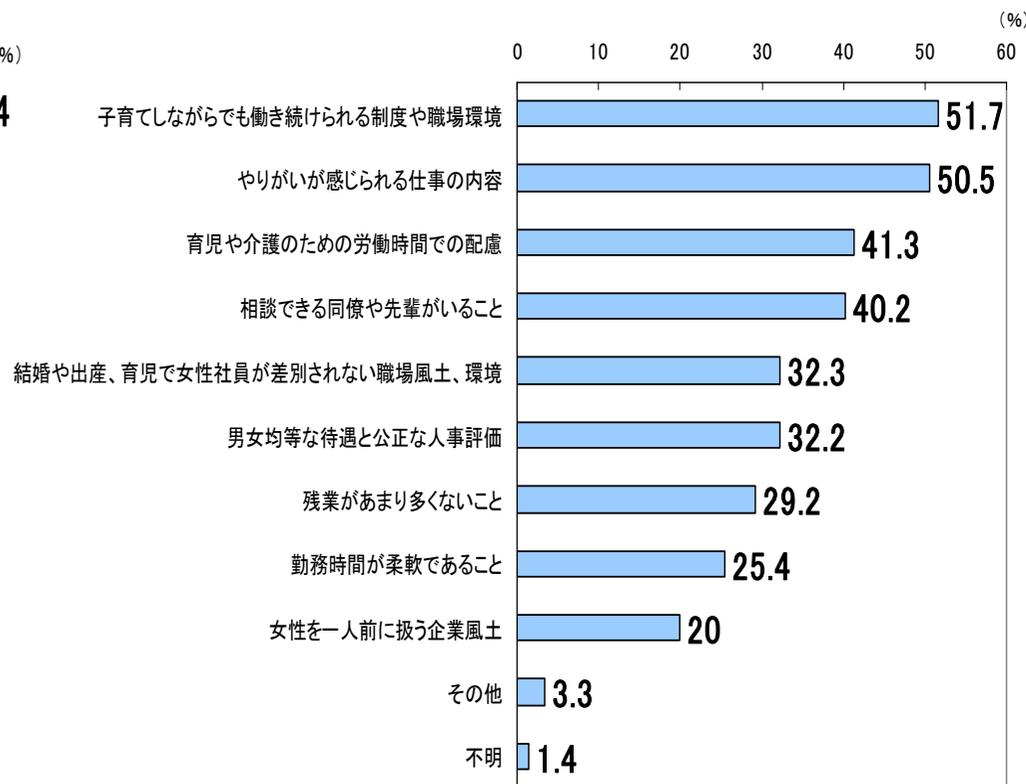
(右グラフの注) 就学前の子どもがいる、出産1年前には雇用者で現在無職の女性について、「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさでやめた」と回答した者にきいたもの

# 女性が働き続けるのを困難したり障害になること、 就業継続のために必要な事項

女性が働き続けるのを困難したり障害になること



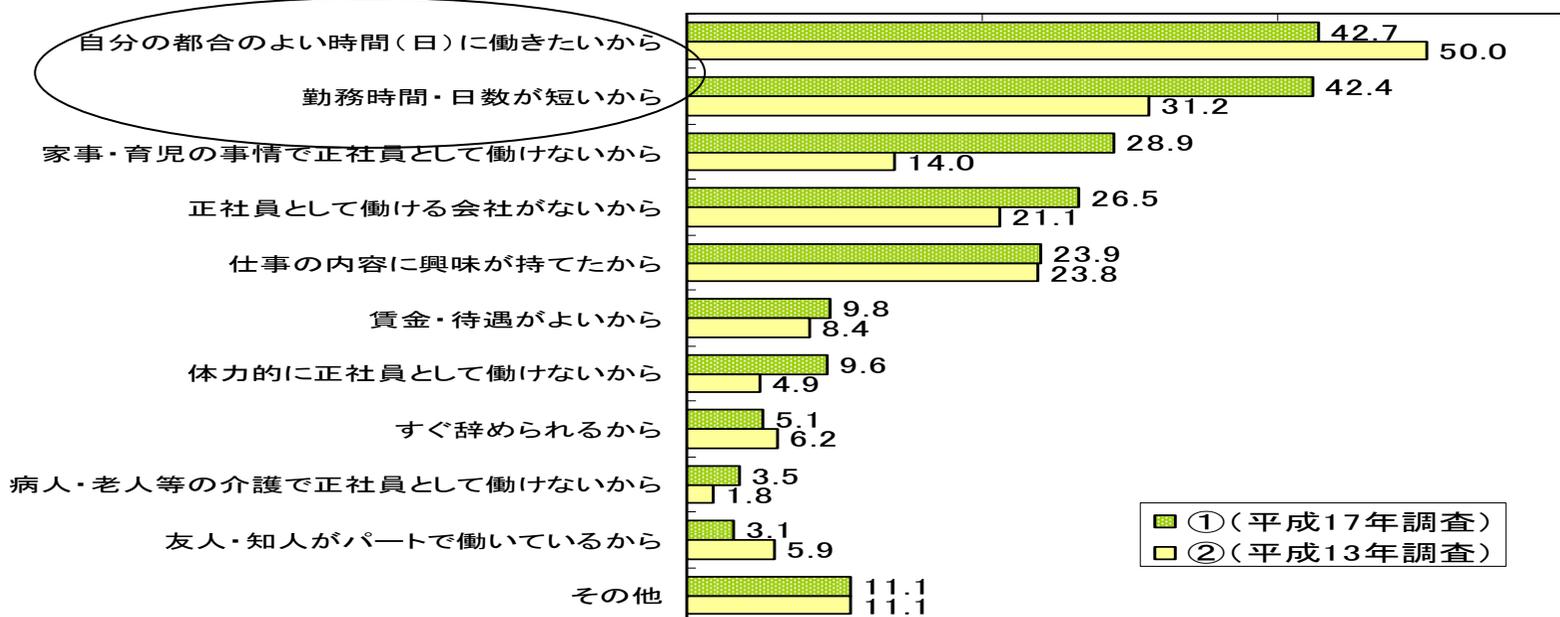
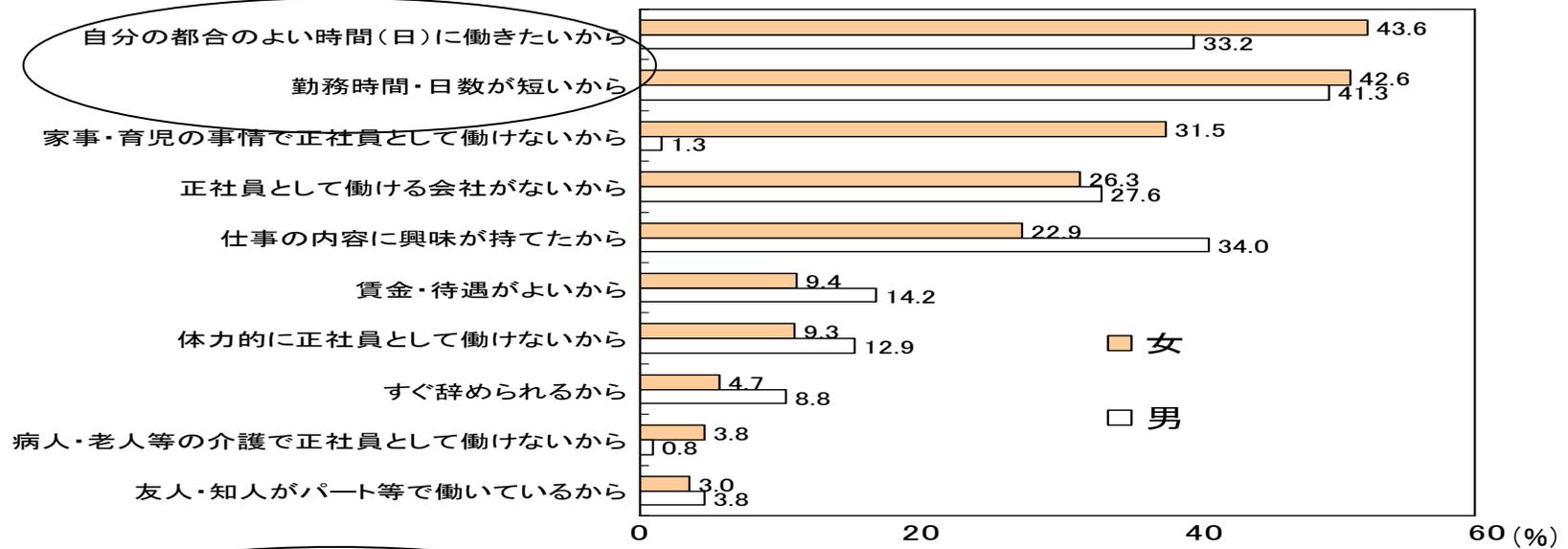
就業継続のために必要な事項



資料出所：（財）21世紀職業財団「女性労働者の処遇等に関する調査」（2005年）

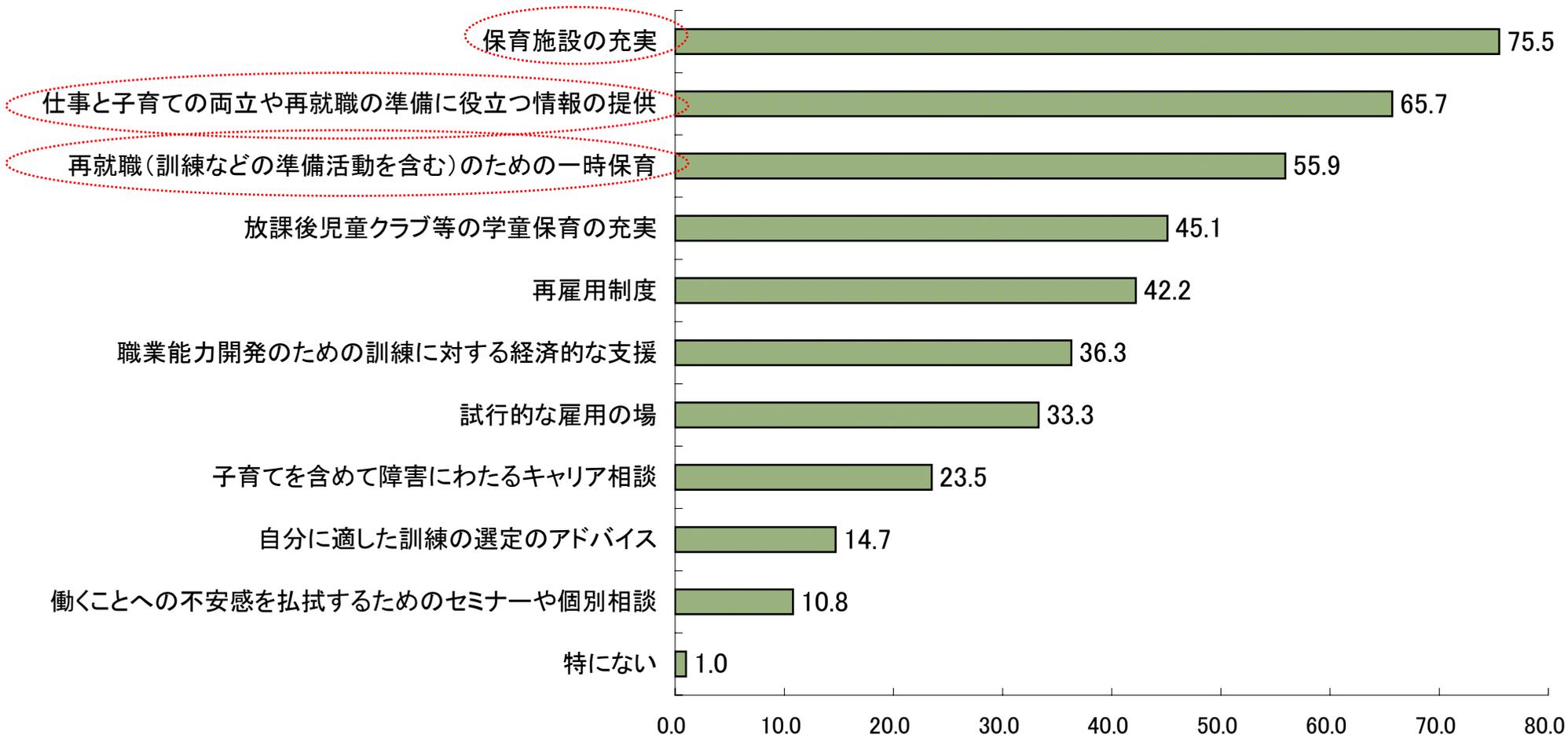
※ 複数回答

# 「パート」としての働き方を選んだ理由別割合（複数回答）



## 円滑な再就職支援のために必要な支援策

円滑な再就職のために必要な支援策をみると、「保育施設の充実」の割合が最も高く、「仕事と子育ての両立や再就職の準備に役立つ情報の提供」、「再就職(訓練などの準備活動を含む)のための一時保育」と続いている。



(資料出所) 日本労働研究機構「育児や介護と仕事の両立に関する調査」(2003年)

(注) 1 複数回答

2 1年前には雇用者で現在は無職の就学前の子供がいる女性